

3 総合子ども学科 3年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	日本国憲法	2	
	児童文学	2	
	情報機器の操作	2	
保育士養成課程 必 修 科 目	保育相談支援		1
	保育実践演習	2	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	地域援助論		2
	保育臨床心理学		2
	保育カウンセリング概論	1	
	視聴覚教育		2
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1	
必 修 科 目	教育実習指導Ⅱ	1	
	ゼミナールⅠ	1	
	ゼミナールⅡ		1
	卒業研究		6
選 択 科 目	教育心理学	1	
	児童文化	1	
	保育あそび論		1
	おもちゃ論		1
	手話		1
	リズム・ダンスあそび		1
	保育表現技術・声楽Ⅱ		1
	保育表現技術・ピアノⅤ	1	
	保育表現技術・ピアノⅥ		1
	保育表現技術・音楽リズム	1	
	教材造形基礎		1
	造形演習Ⅱ	1	
	語りと読み聞かせ		1
	絵本創作		1
	クラスルーム・併修学習Ⅲ a・Ⅲ b	1	1
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
	教育実習		4
合 計 単 位 数		18	34
		52	

科 目	日本国憲法	講 師	中里 満理子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高法規としての憲法のなりたちを知る。 ・ 近代立憲主義の枠組みを理解する。 ・ 論理的記述力を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 憲法の構造 3. 立憲主義 4. 権力分立 5. 国民主権 6. 人権の種類と主体 7. 人権の限界と効力 8. 包括的基本権 9. 精神的自由 10. 経済的自由 11. 身体的自由と手続保障 12. 社会権 13. 統治機構 14. 天皇制 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『憲法』 芦部信喜著、岩波書店		
評 価 の 方 法	出席、ミニテストおよび期末試験による総合評価（初回到説明）		

科 目	児童文学	講 師	宮田 航平
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> ①日本の児童文学史について学びながら、児童文学の役割について考える。 ②教育における児童文学の位置づけを考える。 ③メディアの特性を活かした表現について理解を深める。 ④「子ども」の観点を持ちながら、作品を読むことができるようになる。 ⑤これまで学んできた読むための方法を整理・発展させながら、児童文学作品を読解する力を高める。 ⑥口頭発表やディスカッション・リアクションペーパーなどを通じて、論理的に表現するための力を身に付ける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（授業の進め方、評価方法など） 2. 「児童文学」とは何か 3. 日本の児童文学史(1) 明治・大正編 4. 日本の児童文学史(2) 昭和編 5. 日本の児童文学史(3) 戦後編 6. 日本の児童文学史(4) 現代編 7. 大人の文学と子どもの文学 8. 国語教科書と児童文学(1) 9. 国語教科書と児童文学(2) 10. 絵本と児童文学(1) 11. 絵本と児童文学(2) 12. 〈3.11〉と児童文学 13. 「読むこと」とは何か 14. レポート作成について 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし（プリント配布など） 参考書 ……『はじめて学ぶ日本児童文学史』（ミネルヴァ書房 2001年）など		
評 価 の 方 法	課題（レポートなど）、発表、授業への取り組み（出席など）による総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	酒井 澄
授業目標	<p>幼児教育者が持つべき情報の基礎知識を得る。 情報機器を使う教育の利点と問題点を知る。 基礎的な情報機器の活用法を学び考える。 教育現場でも作成可能なコンピュータによる「動くオリジナルストーリー映像」を作り、これを指導できる能力や創作力を養う。これらを、受け身ではなく自発的に協力し合いながら行う。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ●基礎情報学① 2. ●基礎情報学② 3. ●基礎情報学③ 4. *教育現場での撮影編集の方法 5. ●基礎情報学④ 6. *朗読の仕方、★試験1（設題2）資料持ち込み不可。 7. ■動画制作① 8. ■動画制作② 班ごとに物語を考え発表、一番支持を得た物語の映像制作をする。 9. ■動画制作③ 作業分担制作開始（作業は、脚本・絵コンテ・色指定・キャラクター 10. ■動画制作④ 作画・色塗り・背景作画・色塗り・撮影・スキャン・キャラの切り抜 11. ■動画制作⑤ き・アフレコ台本作り・録音・音楽効果音作り・編集などの作業を分 12. ■動画制作⑥ 担し、協力しあい効率よく完成させる。） 13. ■動画制作⑦ 14. ★試験2（設題1）資料持ち込み不可 ■動画制作⑦ 答案を書き終えた学生は映像作り 15. ■動画制作⑧ 完成試写 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『インターネットの光と影ver6』</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	<p>教科の理解度、受講態度を評価するが、映像制作時の協調性・積極性にも重点を置く。 欠席、遅刻も評価対象となる。</p>		

科 目	保育相談支援	講 師	平岩 由美子
授業目標	<p>子どもたちの望ましい発達のためには、保育者は「子どもたちとのかかわり」だけでなく、子どもたちが家庭生活を共にする「保護者への支援」も重要であり、その必要性が増している現状がある。本授業では、保育相談の意義と原則を学び、保護者に寄り添った支援を行うための基礎を理解する。また、ロールプレイを取り入れ、応答方法、相談面接の方法など理論に基づいた実際の援助方法を体験することで、更に理解を深め、技術の習得を目指す。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育相談支援とは 3. 保育の特性と保育者の専門性を活かした保護者支援 4. 子どもの成長と喜びを共有する支援 5. 保護者の養育力向上のための支援 6. 信頼関係を基本とした支援のあり方 7. 地域資源の活用と関係諸機関との連携・協力 8. 保育相談支援の方法と技術 9. 保育相談支援における留意点 10. 保育相談支援の実際～ビデオ視聴を通して支援を考える 11. 保育相談支援の事例の検討① 12. 保育相談支援の事例の検討② 13. 保育相談支援の記録と評価の方法 14. 保育相談支援の事例の検討③ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『演習 保育相談支援』小林育子著 萌文書林</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>試験・受講態度・レポート提出・出席状況による総合評価</p>		

科 目	保育実践演習	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する様々な物事に目を向け、幅広い視野を持って主体的に関わる姿勢を養う。 ・興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を行う。 ・他者に根拠を示し明確に考えを伝える力を身に付けると同時に、ディスカッションを通し、他者の意見を取り入れながら問題を解決していく方法を体験的に学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション～保育実践演習の進め方～ 2. テーマの設定①～関心を明確にする～ 3. テーマの設定②～テーマを決める・関心の深め方～ 4. 研究のスタイル～調査・分析・考察の方法～ 5. 中間発表に向けての個別指導 6. 中間発表に向けてのレジュメの作成 7. 中間報告及びディスカッション① 8. 中間報告及びディスカッション② 9. 中間発表を踏まえ、発表に向けた課題の点検 10. 発表に向けての個別指導 11. レジュメ作成及び発表準備 12. 発表① 13. 発表② 14. 発表③ 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、中間発表、総合発表、ディスカッション等による総合評価		

科 目	地域援助論	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす人々の生活に目を向ける。 ・社会福祉法に掲げられた地域福祉推進の理念について理解する。 ・地域に向けた援助実践の支えとなる諸理論について学ぶ。 ・現場の取り組みから、援助の実際について学ぶ。 ・コミュニティ・ワーカーとしての保育士の役割について考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 孤立化が進む社会・子どもの貧困 2. 地域福祉推進の理念～社会福祉法から～ 3. 地域における子育て支援 4. 地域福祉の担い手・推進機関とその役割 5. ソーシャル・サポート・ネットワーク 6. エコマップの活用 7. 施設の社会化とは 8. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進 9. 地域福祉における利用者保護の取り組み 10. 福祉教育の意義と実践 11. 地域福祉計画とは 12. 現場の実践例から学ぶ① 13. 現場の実践例から学ぶ② 14. 現場の実践例から学ぶ③ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	保育臨床心理学	講 師	八田 厚子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場における臨床心理学の視点を知り、基本的な知識と方法について学ぶ。 ・ 子どものSOSサインに気づき、問題の早期発見、軽減・解消、予防を含めた子どもへのまなざしや支援について学ぶ。 ・ 保育者は同僚やほかの専門領域の人たちにも支えられつつ、保育者自身が成長することの大切さを知る。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育と臨床心理学 2. 保育現場における援助実践活動 3. 子どものSOSサイン ①ストレス「心とからだ」 4. 〃 ②パーソナリティー、対人関係、認知 5. 〃 ③気になる子ども 6. 子どもの心理臨床 ①心理アセスメント「保育現場における気づき」 7. 〃 ②心理療法 「遊びや日常生活の中で」 8. 家族、地域、社会の中の子ども 9. 保育現場における子育て支援「役割演技」の体験 10. 事例研究 ① 11. 〃 ② 12. 〃 ③ 13. 保育者の成長「アサーション」「コンサルテーション」 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定しない 参考書……適時紹介		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験等による総合評価		

科 目	保育カウンセリング概論	講 師	井上 恵理
授業目標	下記4点を授業目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・ カウンセリングマインドについて学び、保育士として子どもに関わるときの自分の気持ちや考え方に気付く ・ 子どもの「個」を理解する大切さを学ぶ ・ 保育士として子どもの「育ち」を意識して関わることの重要性を学ぶ ・ 保護者への支援方法を学ぶ 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. カウンセリングマインドと子ども理解 1 3. カウンセリングマインドと子ども理解 2 4. 子どもの発達理解 5. レポート指導(1) 6. レポート指導(2) 7. 保育における子ども理解と援助 1 8. 保育における子ども理解と援助 2 9. レポート指導(3) 10. 障碍のある子どもの理解と援助 11. 保育とカウンセリング 12. レポート指導(4) 13. レポート指導(5) 14. 試験対策(1) 15. 試験対策(2) 		
教科書 及び 参考書	教科書……併修指定テキスト『子ども理解と援助』ミネルヴァ書房 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	視聴覚教育	講 師	中山 佳寿子
授業目標	1. 「見る」「聞く」など子どもたちに大きな影響を与える視聴覚教育の意義とねらいを理解する。 2. 視聴覚教材を作成したり演じたりすることにより、保育者として必要な表現力を養う。 3. 子どもの豊かな表現を育むための、コミュニケーションの方法や技術を身に付ける。		
授 業 の 画 計	1. 授業のねらい及び内容 活動：自己紹介を使ったあそび／歌を使った自己紹介 2. 視聴覚教材の種類 活動：言葉とポーズを使った即興的表現あそび 3. 絵本について／読み聞かせの手法 4. 絵本の作成 5. 紙芝居について／演じ方の技法 活動：作成した絵本の発表 6. 紙芝居の作成 7. ペープサートを作成し、自己紹介をしてみよう 活動：作成した紙芝居とペープサートを使った自己紹介 8. 人形劇（ぬいぐるみを使って）演じてみる 持ち物：各自ぬいぐるみ数点 9. ペープサート① 物語を上演するための作品を作る 10. ペープサート② 物語を上演するための台本を作る 11. ペープサート③ 歌や音楽をどのように使うか 12. ペープサート作品の上演会 13. 子どもたち自身が楽しんで作る視聴覚教材 ～指導案作成～ 14. 指導案の発表とディスカッション 15. 学習の振り返り		
教科書 及び 参考書	教科書……なし 参考書……なし		
評 価 の 方 法	出席、受講態度、作成物、発表による総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅱ	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。 ・保育実習Ⅱに向けて、目的意識・問題意識を明らかにする。 ・保育所、保育士の役割について理解し、実践する。 ・保育教材の制作・発表を通じ、指導案を立案し実践し評価を行う。 		
授 業 の 画 計	1. 保育実習Ⅰを振り返る① 2. 保育実習Ⅰを振り返る② 3. 実習日誌の分析 4. 部分、責任実習の実際 5. 日案作成① 6. 日案作成② 7. 保育教材の制作 8. 保育教材の発表 9. 責任実習指導案の作成と展開、反省① 10. 責任実習指導案の作成と展開、反省② 11. 保育実習Ⅱの目標を立てる。 12. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 13. 責任実習に向けての準備① 14. 責任実習に向けての準備② 15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する。		
教科書 及び 参考書	教科書……『3つのカベをのりこえる！保育実習リアルガイド』学研教育みらい 参考書……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド』ミネルヴァ書房（保育実習指導Ⅰaで使用したもの）		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等の総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。 ・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。 ・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方 2. 保育所実習・施設実習の振り返り① 3. 保育所実習・施設実習の振り返り② 4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化① 5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化② 6. 実習日誌の分析 7. 実習日誌の書き方 8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする 9. 施設実習における保育者の専門性を考える 10. 個別支援計画と指導計画の作成 11. 個人票の作成① 12. 個人票の作成② 13. 実習課題の作成① 14. 実習課題の作成② 15. 実習に向けてのまとめ、直前指導 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……授業時に適宜プリントを配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	教育実習指導Ⅱ	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教育実習に対する事前学習として、実習目標を明確にする。 ・ 実習生としての自覚・心構えを体得する。 ・ 幼稚園の実際の理解を深め、記録方法を学ぶ。 ・ 各授業の学習成果を実践の場で活用できるよう、総合的な力を養成する。 ・ 事後学習として、実習を振り返り、幼稚園教諭としての自覚を高める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 個人票作成 2. 幼稚園教育実習の意義と目的 3. 幼稚園の生活(1) 環境 4. 幼稚園の生活(2) 子どもの活動 5. 実習課題・研究テーマの設定 6. オリエンテーションについて 7. 教育実習日誌の書き方演習(1) 観察記録の基本学習 8. 教育実習日誌の書き方演習(2) 環境設定・保育者のねらい・配慮の理解 9. 指導計画の立案(1) 1日の活動 10. 指導計画の立案(2) 手遊び・絵本・紙芝居を中心として 11. 指導計画の立案(3) ゲーム・製作活動を中心として 12. 実習の振り返り 13. 実習後面談 14. 実習報告準備 15. 実習報告 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』 萌文書林 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	ゼミナールⅠ（保育総合ゼミ）	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に必要とされる総合的な実践力を養う。 （コミュニケーションスキル）（チームワーク）（保育技術） ・3つの【ア】を身につける。（アイデア、アレンジ、あそび心） ・各自の興味、関心に合わせたテーマを取り上げ、ディスカッションや、製作、指導案の立案など通して、保育力を高めていく。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（保育者に求められる資質とは??） 2. 保育における総合的な指導とは?? 3. テーマの検討と方向性 4. テーマに即したスケジュール、計画について 5.) 6.) 7.) 8.) 9.) 演習・校外学習など受講者の状況に応じて授業を行う 10.) 11.) 12.) 13.) 14. 発表 15. まとめ・今後の課題 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……授業時に紹介する		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表、提出物、試験等の総合評価		

科 目	ゼミナールⅠ（ボーカルゼミ）	講 師	木下 裕子
授業目標	<p>様々なジャンルの楽曲（童謡・唱歌、フォークソング、Jポップ、ゴスペル、外国語曲等）を通して、保育指導に役立たせる音楽能力を各人が開発していきましょう。 また、追いかけて歌（カノン）や合唱曲を通し、ハーモニーの楽しさを実感しましょう。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 各自の興味のある楽曲について 3. 各自の課題と共通課題の検討 4. 演習① 5. 演習② 6. 演習③ 7. 演習④ 8. 演習⑤ 9. 演習⑥ 10. 演習⑦ 11. 演習⑧ 12. 演習⑨ 13. 個別発表 14. 共同発表 15. 振り返りとまとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席と受講態度、個別発表、共同発表の成果による		

科 目	ゼミナール I (world dance seminar)	講 師	中村 悦子
授業目標	・現代社会の中のDANCE ・自分の体を知る。 ・子どものDANCEから学ぶ。 ・振付してみよう！発表してみよう！		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 体を知る。 3. 体の動きを知る。 4. } 5. } 6. } 7. } 8. } 子どもCHEER DANCEから学ぶ。（シューティングスター チェアダンス） 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 作品製作 14. } 15. 作品発表		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度、出欠席、実技作品の評価		

科 目	ゼミナール I（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	保育造形に関する事項から必ずテーマを選び、研究・課題制作を通して学習を深める。そしてファイルにまとめ発表し提出する。テーマは将来の現場指導に活用できる内容とする。また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるような真摯な態度で研究する。 ＊制作に必要な全材料は自己負担し準備する。 展覧会見学等で様々な美術に触れ、訪問記録をレポートにまとめ提出する。		
授 業 の 画 計	1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察。十分な調べ学習を行う。 2. 研究テーマ案の発表と検討。講師によるテーマのチェック（個別またはグループ） 3. 研究テーマの再案の発表と再検討。テーマ決定。計画立案。 4. 制作1：各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。 5. 制作2：制作進行 6. 制作3：制作進行、中間チェック（個別相談） 7. 制作4：制作進行 8. 制作5：制作進行、中間発表（全体）進行状況の確認と相談。スケジュールの調整。 9. 制作6：制作進行 10. 制作7：制作進行、中間チェック（個別相談） 11. 制作8：制作進行 12. 制作9：仕上げと研究発表に向けた準備。 13. 制作10：B5ファイルに各自まとめる。 14. 制作11：研究テーマの発表。（各自） 15. まとめと総評。		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、まとめファイル、適切な片付け、出席状況）		

科 目	ゼミナールⅡ（保育総合ゼミ）	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミナールⅠで見つけた各自のテーマを深めていく。 ・保育者に必要とされる総合的な実践力を養う。 （コミュニケーションスキル）（チームワーク）（保育技術） ・各自のテーマに即して、ディスカッションや、製作、指導案の立案など通し、保育力を高めていく。 		
授業の画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゼミナールⅠの振り返り 2. 各自のテーマの検討① 3. 各自のテーマの検討② 4. テーマの決定と計画 5.) 6.) 7.) 8.) 9.) 演習・校外学習・中間報告・発表準備など受講者の状況に応じて授業を行う。 10.) 11.) 12.) 13.) 14. 発表 15. 振り返り・まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……授業時に紹介する</p>		
評価の 方 法	出席状況、受講態度、発表、提出物、試験等の総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ（ボーカルゼミ）	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの楽曲（童謡・唱歌、Jポップ、ゴスペル、外国語曲等）を通して、保育指導に役立たせる音楽表現技術を各人が開発していきましょう。 ・「わらべうた」の演習・研究を行います。 		
授業の画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：わらべうたについて 2. 各自の興味ある楽曲のリサーチ 3. 各自の課題と共通課題の検討 4. 演習① 5. 演習② 6. 演習③ 7. 演習④ 8. 演習⑤ 9. 演習⑥ 10. 演習⑦ 11. 演習⑧ 12. 演習⑨ 13. 個別発表及びコンサートの進行表作成 14. 共同発表（ライブコンサート形式） 15. 振り返りとまとめ（レポート作成） 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	出席状態、個別発表、共同発表、レポートによる総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ (world dance seminar)	講 師	中村 悦子
授業目標	・現代社会の中のDANCE ・自分の体を知る。 ・振付けしてみよう！発表してみよう！ ・子どもチェアから学ぶこと		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. } 3. } シューティングスター 子どもチェアからのまとめ 4. } 5. } 6. } 7. } 自分達でチェアDanceを作ってみる！ 8. } 振付けで踊ってみよう 9. } 作品発表 ボンボンすべて 10. } 11. } 12. } 13. } 作品製作（衣裳や小物） 14. } 15. 作品発表		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度、出欠席、実技作品の評価		

科 目	ゼミナールⅡ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	ゼミナールⅠの内容を踏まえ保育造形に関するテーマを選び研究・課題制作を行う。そして作品を完成させ模造紙にまとめるなど展示準備を整えてチャイルド祭にて発表、その記録を提出する。テーマは将来の現場指導に活かす内容とする。 また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるような真摯な態度で研究する。 ＊制作に必要な全材料は自己で負担し準備する。 展覧会見学等で様々な美術に触れ訪問記録を提出する。		
授 業 の 画 計	1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察。十分な調べ学習を行う。引き続きゼミⅠの制作。 2. 研究テーマ案の発表と検討。講師によるテーマのチェック（個別） 3. 研究テーマの再案の発表と再検討。テーマ決定。計画立案。 4. 制作1：各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。 5. 制作2：制作進行、中間チェック 6. 展示準備1：チャイルド祭での壁面展示等に向けた準備。作品の仕上げ 7. 展示準備2：作品展示の模造紙準備 8. 展示準備3：展示壁面の制作 9. 制作3：チャイルド祭後の研究テーマの検討、制作スケジュールの立案（個別相談） 10. 制作4：制作進行 11. 制作5：中間発表（全体）進行状況の確認と相談。スケジュールの調整。 12. 制作6：仕上げと研究発表に向けた準備。 13. 制作7：B5ファイルに各自まとめる。 14. 制作8：研究テーマの発表。 15. まとめと総評。		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、まとめファイル、適切な片付け、出席状況）		

科 目	保育あそび論	講 師	荒巻 シャケ
授業目標	目標1 保育にいかせる遊びの引き出しを増やす。 目標2 自分自身が遊びを楽しむ。 目標3 遊びを変化させたり、発展させる柔軟性を身に着ける。 目標4 お互いに学びあい、人によって遊びの視点や感じ方が違うことにも気づく。 目標5 様々な保育の考え方があることを知る。 目標6 面白い！苦手！など、遊びによって自分がどう感じるか		
授 業 の 画 計	1. あそび歌①（実際にあそび歌で遊びながら楽しさを体験する） 2. あそび歌②（替え歌など創作して、発表する） 3. あそび歌③（言葉遊び歌） 4. 物遊び①（バンダナを使ってゲーム遊び） 5. 物遊び②（バンダナゲーム創作発表） 6. 物遊び③（新聞紙で遊んでみよう） 7. 物語創作（カタルタを使って遊んでみよう） 8. ゲーム遊び①（世界のカードゲーム3～5歳） 9. ゲーム遊び②（世界のカードゲーム5～8歳） 10. 絵本（赤ちゃん絵本を探ってみよう） 11. 映像で見る（子どもの心に寄り添う、りんごの木の保育） 12. 遊びとは？①（グループごとに発表準備） 13. 遊びとは？②（グループごとに発表準備） 14. 遊びとは？③（グループごとに発表準備） 15. まとめ（遊びとは？のグループ発表をする）		
教科書 及び 参考書	教科書……指定なし 参考書……授業ごとに紹介します		
評 価 の 方 法	受講態度・出席・レポート・実演での総合評価		

科 目	おもちゃ論	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	身近な保育材料を使って手作りおもちゃを数多く制作する。そして作り方及び使用の仕方を各自がまとめ、レポートに記述する。そして実際に遊び、その活用法を身につける。さらに実践する際の指導方法を考える。 またおもちゃが子どもに与える成長や発達の特徴を学ぶ。 ＊制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。		
授 業 の 画 計	1. 前提講義：子ども時代に遊んだ玩具を振り返り、リスト作成。おもちゃの歴史。 2. 「玩具」の意義。子どもにとって「おもちゃ」とは。レポート発表後、意見交換。 3. 「手作りおもちゃ」とは何か？これまで作った手作りおもちゃリスト制作。 4. 双六制作（マップとサイコロ）。ボードゲームの作り方、遊び方の解説書制作。 5. 風車制作（自然環境とおもちゃ）。伝統玩具とは。 6. 風車遊び。風車の作り方と遊び方の解説書制作。 7. ごっこ遊びのおもちゃ制作（折り紙による人形とドールハウス作り）。ままごと遊びとは。 8. 人形遊び。手作り人形の作り方と遊び方の解説書制作。 9. 知育玩具とは。発達段階とおもちゃの関係。 10. ブロックと積み木の違い。遊び方の解説書制作。 11. 音の出るおもちゃ制作（ガラガラ、太鼓、缶ぽっくり、ストロー笛など） 12. 音の出るおもちゃで演奏の練習。楽器おもちゃの作り方、演奏の仕方の解説書制作。 13. 様々な素材のコマ制作（ペットボトルのフタ、ドングリ、びゅんびゅんごまなど） 14. タングラム（三角パズル）遊び。 15. まとめ。		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、適切な片付け、出席状況）		

科 目	手話	講 師	乙川 智子
授業目標	① 手話の学習を通し、聴覚障害に関する理解を深める。 ② 手話の基礎知識を学ぶ。 ③ 聴覚障害の基礎知識を学ぶ。 ④ 聴覚障害者の生活や、福祉制度の基礎知識を学ぶ。 ⑤ 聴覚障害者との交流を行い、コミュニケーション力を養う。		
授 業 の 画	1. 〈技術〉伝え合ってみよう I 〈理論〉手話の基礎知識 I 2. " II " II 3. 自己紹介の表現 名前 聴覚障害の基礎知識 I 4. 指文字 " II 5. 家族 コミュニケーションとは 6. 趣味 聴覚障害者の生活 I 7. 住所 " II 8. 仕事 " III 9. 学生生活 福祉制度 I 10. 誕生日 " II 11. 自己紹介まとめ I 12. " II 13. 聴覚障害者との交流学习 14. 試験 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『手にことばを 初級編』東京都聴覚障害者連盟 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、定期試験、レポート等による総合評価		

科 目	リズム・ダンスあそび	講 師	明尾 真弓
授業目標	リズムに誘発され、リズムに乗って踊る楽しさは人間が生まれながらに持っている「律動の快感」に根ざしており、これがリズムダンスの「踊る原点」としての重要な側面である。この授業では受講生自らが様々なリズム・ダンスを体験、創作、発表を通じ、リズムを身体で感じ表現することの喜びを味わうとともに、保育に生かす方法を考え出せるようになってほしい。また、ダンスに必要な柔軟性、瞬発力、基礎体力も養っていく。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. ストレッチと身体づくり 3. リズムあそび① 4. リズムあそび② 5. リズムダンスあそび① 6. リズムダンスあそび② 7. リズムダンスあそび③ 8. リズムダンスあそび④ 9. リズムダンス創作①選曲 10. リズムダンス創作②振付、構成 11. リズムダンス創作③振付、構成 12. リズムダンス創作④仕上げ 13. 発表と指導演習① 14. 発表と指導演習② 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席、課題の成果等による総合評価		

科 目	保育表現技術・声楽Ⅱ	講 師	福田 由子			
授業目標	<p>子どもたちに、歌う楽しさを伝える事が出来るよう、子どもの歌、生活の歌を暗譜し、一人で歌えるよう練習致します。</p> <p>マイレパートリーカードを作り、出来るだけ多くの曲を書き込めるよう練習していきます。</p> <p>ハーモニーを体験する事により、より豊かな表現が出来るよう練習致します。</p>					
授 業 の 画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> <p>子どもの歌の歌唱練習 毎時間2～3曲暗譜</p> <p>↓</p> <p>中間実技テスト 子どもの歌の歌唱練習</p> <p>↓</p> <p>テスト課題曲発表と全体レッスン 課題曲のグループレッスン 期末テスト ノート提出</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> <p>マイレパートリーカード に記入していく</p> <p>↓</p> <p>カード提出</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	<p>子どもの歌の歌唱練習 毎時間2～3曲暗譜</p> <p>↓</p> <p>中間実技テスト 子どもの歌の歌唱練習</p> <p>↓</p> <p>テスト課題曲発表と全体レッスン 課題曲のグループレッスン 期末テスト ノート提出</p>	<p>マイレパートリーカード に記入していく</p> <p>↓</p> <p>カード提出</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	<p>子どもの歌の歌唱練習 毎時間2～3曲暗譜</p> <p>↓</p> <p>中間実技テスト 子どもの歌の歌唱練習</p> <p>↓</p> <p>テスト課題曲発表と全体レッスン 課題曲のグループレッスン 期末テスト ノート提出</p>	<p>マイレパートリーカード に記入していく</p> <p>↓</p> <p>カード提出</p>				
教科書 及び 参考書	<p>教科書……声楽Ⅰで使用した本を引き続き使用</p> <p>参考書……</p>					
評 価 の 方 法	実技テスト、マイレパートリー曲数とレベル、授業中の熱意等による総合評価。					

科 目	保育表現技術・ピアノⅤ	講 師	石田 延江・石原 奈保子 上田 亜津子・杉浦 千里
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。 ・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。 ・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの</p> <p>参考書……『始めよう！弾き歌い』</p>		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅥ	講 師	杉橋 祥子・鈴木 真智子 山崎 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。 ・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。 ・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。 		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 …… 1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書 …… 『始めよう！弾き歌い』		
評価の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・音楽リズム	講 師	明尾 真弓
授業目標	<p>ダンス、歌あそび、運動あそび等、様々なあそびを実習し、受講者自身も楽しみながらスキルアップしていく。さらに、後半はそれらを応用し劇をつくり、展開する力、友達と協力しながらひとつのものを作りあげていく力を養っていく。また、毎時間ストレッチ等を行い、受講者の体力維持・増強を図っていく。</p>		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 歌あそび、手あそび 3. ダンスあそび 4. 音あそび① 5. 音あそび② 6. 表現あそび① 7. 表現あそび② 8. 運動あそび 9. 指導演習① 10. 指導演習② 11. 劇あそび①題材選び 12. 劇あそび②脚本づくり 13. 劇あそび③演技練習 14. 劇あそび④演技練習 15. 劇あそび⑤発表会 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評価の 方 法	受講態度（積極的に主体となって活動できたか、等）、出席、課題の成果等による総合評価		

科 目	教材造形基礎	講 師	宮地 明子
授業目標	1年次・2年次での学びを復習しながら、年齢に適した造形活動の教材について理解を深める。 保育現場の実践を想定しながら、ねらいや展開の仕方を考え効果率的な導入と教材準備を考える。		
授 業 の 画	1. 授業についてのガイダンス・アンケート 2. 導入の重要性、制作のねらいと準備 3. 0～1歳児の制作 4. 2～3歳児の制作 5. 4～5歳児の制作 6. 集団制作を考える 7. コスチュームを作ろう ① 8. コスチュームを作ろう ② 9. コラージュ版画 10. 糸を使って 11. 自然素材 ① 12. 自然素材 ② 13. 季節の制作を考える ① 14. 季節の制作を考える ② 15. 発表・まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし。授業内容に合わせて必要な資料は講師が準備し配布します。 参考書 ……特に指定なし。授業内容に合わせて必要な資料は講師が準備し配布します。		
評 価 の 方 法	出席・単位ごとのレポート提出と、授業への取り組みによる総合的評価。		

科 目	造形演習Ⅱ	講 師	目黒 祥元
授業目標	これまでの授業を顧みて、造形表現における自身の課題を掘り下げ、実習を通して将来に準備する。 幼児造形の枠にとらわれない課題も取り入れて、広く造形美術の経験を深める。 共同制作を行い、実践的な応用力を養う。 *状況に応じて、授業内容や進行を適宜変更します。		
授 業 の 画	1. ガイダンスと課題制作 2. 壁面装飾Ⅰ 3. 壁面装飾 共同制作 4. 絵具+Ⅰで遊ぶ 5. 絵具+Ⅰで描く 6. 紙を継ぐ、描くⅠ 7. 紙を継ぐ、描くⅡ 8. 作品を展示する 9. 粘土で遊ぶⅠ 10. 粘土で遊ぶⅡ 11. 刷り写す 12. 作品を装飾する 13. 額絵を描くⅠ 14. 額絵を描くⅡ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	期末試験、実習への取り組み、課題の完成状況、作品の評価、出席等の状況による総合評価		

科目	語りと読み聞かせ	講師	近藤 千春
授業目標	子どもが喜び、心から満足する良質なおはなしとは？様々な昔話の語りや小道具使用のおはなし遊び・絵本の読みきかせを自ら体験し楽しみながら、子どもとおはなしの世界を探っていく。子どもの年齢や成長段階に合わせ配慮したり工夫することを学ぶ。簡単な制作・実践に向けての取り組みを通じ、現場で生かせる実践力を養う。保育者自身楽しむことが、子どもの“楽しく聞く体験”につながることを体得する。おはなしの世界で楽しいひとときを共有できる保育者を目指す。		
授業計画	1. 体験しよう「大人が楽しむ語りと読みきかせ」 2. 子どもとおはなしの世界 3. おはなしを語るということ 子どもはおはなしをどう聞いて楽しむか 4. 絵本を読みきかせるといふこと 子どもは絵本をどう楽しむか 5. 保育の現場で☆発達段階に合わせて 6. 手あそび・うたあそび・わらべうた・えかきうた・ 7. 小道具（あやとり・新聞紙・折り紙・牛乳パック・ 8. 軍手人形やぬいぐるみ等、身近な小物）使用のおはなし遊び 9. 語りのおはなしと絵本の読みきかせ 10. やってみよう「おはなし会」①実践と発表 11. “ ” ② “ “ 12. “ ” ③ “ “ 13. “ ” ④ “ “ 14. “ ” ⑤ “ “ 15. まとめとふりかえり 0～1歳・1～2歳 2～3歳 3～4歳 4～5歳 5～6歳 		
教科書及び参考書	教科書 ……『子どもの育ちを支える絵本』岩波書店 参考書 ……授業中に紹介 プリントして配布		
評価の方法	出席重視。受講態度、実践や課題に取り組む姿勢など、総合的に評価します		

科目	絵本創作	講師	奥谷 敏彦
授業目標	保育関係の仕事を目指す人にとって、絵本は基本的なアイテムのひとつと言えると思います。自作の絵本を製本までできたら楽しいのではないのでしょうか。また、保育にもきっと役立つはず。この授業では、そのような手作り絵本を制作します。具体的には、ストーリーを考え、絵を描き、製本をするという流れです。絵を何枚も描かなくてはならなくなりますが、それを乗り越えて製本までできれば、完成の喜びは大きいと思います。		
授業計画	1. 授業内容について 2. お話を考える（コマ割りしたラフスケッチをつくる1） 3. “ ” （ “ ” 2） 4. 本文作画(1) 5. “ ” (2) 6. “ ” (3) 7. “ ” (4) 8. “ ” (5) 9. “ ” (6) 10. “ ” (7) 11. “ ” (8) 12. 製本(1)…本文の貼り合わせ、裁断 13. “ ” (2)…表紙制作 14. “ ” (3)…表紙と本文の貼り合わせ 15. 講評		
教科書及び参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『絵本と童話の作り方』長崎出版		
評価の方法	制作された作品により評価		

科 目	クラスルーム・併修学習Ⅲ a (前期) Ⅲ b (後期)	講 師	阿久津 摂				
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス活動を通じて、保育者に必要とされるコミュニケーション力、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養い、高める。 ・幼稚園教諭免許状取得に向けて、併修学習を促進する。 						
授 業 の 画 計	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 並行してレポート・テスト学習</td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;"> (後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 並行してレポート・テスト学習</td> </tr> </table>			(前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習
(前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習				
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし						
評 価 の 法 方 法	出席状況による評価						